

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣商業高等学校 学校番号 26

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体の育成 (2) 地域、家庭、学校の連携協力による明るく、活力ある、地域社会人の育成	
2 評価する領域・分野	◇学校経営・運営	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からは、「単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育成しようとする校風が感じられる」が90%、「学校は新型コロナウイルス感染症対策を最優先に捉え、適切に学校行事等を計画している」が95%と高い評価を得ている。 ・生徒の96%が、「本校に入学できてよかったと思っている」という結果である。これは、生徒自ら目標や課題をもち、自ら考え、判断し、行動している結果と考えられる。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇学校運営及び教育活動などに関して、学校運営協議会委員、同窓会及び保護者等への情報発信とともに、外部からの要望・意見を適切に聴取し、地域社会への還元や参画等といった社会貢献や地域創生に係る取組により特色ある学校づくりを一層推進する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や地元産業界との連携をさらに強化し、地域に根付いた特色ある学校づくりの推進 ・学校経営や運営に関する意見や要望等の聴取（学校運営協議会等） ・学校ホームページの迅速な更新 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 外部人材による教育力を活用した「ふるさと教育」等の取組 (2) 学校運営協議会等において意見や要望等を聴取する機会の設定 (3) 学校ホームページの更新と充実	(1) 生徒の取組満足度と生徒による自己評価 (2) 協議会等における意見・要望事項を踏まえた実践 (3) 本校ホームページ更新後のアクセス数	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 今年度はコロナ禍であったが、学科や教科の学びを深めるために外部人材を活用した課題研究等の取組を一段と充実させた。 (2) 学校運営協議会等において、本校として育成すべき生徒像等について示唆を受けた。 (3) 学校ホームページの更新頻度を向上させ、地域連携事業、学校行事、部活動成果等の迅速な情報発信に努めた。	(1) 外部人材を十分に活用し、活力ある学校づくりの推進につながっているか。 (2) 各外部委員から学校経営や運営にかかる意見や要望等を聴取できているか。 (3) 本校ホームページに最新情報が掲載され、生徒や保護者等から「見やすさ・分かりやすさ」の評価が得られているか。	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
11 成果・課題	<p>○大学や地元産業界等と連携を強化にすることで、ふるさと教育の充実を図ることができた。</p> <p>▲地域社会への還元や参画等といった社会貢献や地域創生に係る取組の充実を図る。特に、令和3年度から2年間、県指定事業「地域産業の担い手育成総合戦略事業」を通して、地域資源を活用しながら地域で活躍できる人材育成に努めていく。</p> <p>▲時代に即したビジネスモデルの学びへの挑戦と生徒の進路実現のための学力向上を図る。</p>	
12 来年度に向けての改善方策案	2022年（令和4年）に創立120年を迎える西濃地区唯一の商業・情報に関する商業高校として、地域に貢献できる人材を目指し、全国レベルの活力と特色ある学校を目指す。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年1月28日

【意見・要望・評価等】
・教科・科目を横断的に実施し、専門教育を柱に、物事を探求し社会の課題解決に向けた提案ができる力の育成を図る。このような将来の地域社会人としての力を育成できる授業改善に努める。

- オンライン授業の導入に伴う授業研究の推進を図る。ICTを活用した授業を推進することで、生徒の学力向上に努める。
- 地元産業界等と連携し、これからのビジネスで求められる資質、能力を身に付けさせる。
- 学校のホームページがより見やすくなり、生徒の毎日の活動の様子が分かり易く掲載されている。今後、ホームページのリンク先として、「地域（企業）のみなさまへ」を追加して、専門教育部で実施している地域連携教育が一目でわかるページを追加すると良いのではないか。
- ホームページ更新の頻度を高くし、常に最新の情報（学科の取組内容等）を掲載できるようにする。